

F-REIの最近の動き (令和7年4月～)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

令和 7 年 4 月以降の出来事

4月 1日	環境創造センター三春町施設における放射性物質の環境動態研究の F-REIへの統合、福島ロボットテストフィールドのF-REIへの統合	3
4月26日	福島国際研究教育機構 起工式を開催	4
4月26日	F-REI 2 周年記念シンポジウムを開催	5
4月26日	「エフとも」を創設	6

令和7年4月1日（火）

環境創造センター三春町施設における放射性物質の環境動態研究のF-REIへの統合、福島ロボットテストフィールドのF-REIへの統合

■ 環境創造センター三春町施設における放射性物質の環境動態研究のF-REIへの統合

4月1日、F-REIの基本構想に位置付けられた「司令塔」の機能を発揮するため、JAEA及びNIESが環境創造センター三春町施設において実施していた放射性物質の環境動態研究については、F-REIに統合しました。

F-REIでは、本統合により、これまでの放射生態学ユニットの研究、JAEA及びNIESが実施していた研究を踏まえ、放射性物質の環境動態に関する研究の一体的・総合的推進を図ります。



■ 福島ロボットテストフィールド（RTF）のF-REIへの統合

4月1日、福島県が管理・運用していた福島ロボットテストフィールド（RTF）について、これまでの機能及び成果をF-REIが継承するとともに、ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指すために、F-REIに統合しました。

F-REIでは、統合後のRTFの活用を通じて、世界水準の研究とその成果の社会実装・産業化を進め、RTFを利用する企業・研究機関との共同研究等によりその成果の最大化を目指します。



令和7年4月26日（土） 福島国際研究教育機構 起工式を開催

4月26日、F-REI本施設予定地で「福島国際研究教育機構 起工式」が開催されました。

起工式では、山崎理事長より祝辞を述べるとともに、工事の安全や円滑な進行を祈願して伊藤復興大臣、内堀福島県知事、浜通り地域等15市町村の首長等と共に鍬入れを行いました。

F-REI本施設について、本部施設棟は令和10年度完成を、研究施設等その他の施設は令和12年度末までの順次供用を目指しています。



令和7年4月26日（土） F-REI 2周年記念シンポジウムを開催

4月26日、F-REIの「2周年記念シンポジウム」を浪江町で開催しました。

F-REIの創設から2年が経過し、組織・人員の整備が進むとともに、研究ユニットの創成、企業等とのネットワーク形成、人材育成等の取組が本格化しつつあります。本シンポジウムは、こうした節目にこれまでの活動を振り返り、今後の展望を広く共有することを目的に開催したものです。

山崎理事長や大西ユニットリーダー、復興庁鈴木参事官による講演のほか、浜通り地域の未来を描く地域の子もたちによる発表や、参加者の皆さまにお楽しみいただけるコンテンツの展示などを行いました。

当日は、ご来賓の皆様を含め、295名の大勢の方にご参加いただき、大盛況のうちに開催することができました。

※詳細は下記HPをご確認ください。

https://www.f-rei.go.jp/activity/2nd_anniversary_symposium_report.html



令和7年4月26日（土） 「エフとも」を創設

4月26日、福島浜通り地域等を中心とした教育・科学・文化の振興プラットフォーム「エフとも」を創設しました。

「エフとも」は、F-REI および福島県浜通り地域等に拠点を有し、地域の教育、科学、文化等の振興を目的とした機関が、それぞれ主催し、取り組んでいる活動について、広域連携により取組の効果を高めるため、これらの活動の相互扶助（互助）を行う仕組みです。これにより、互いの活動内容を理解しつつ、より身近な存在として広く地域に認知していただく一助とします。

F-REI では、この「エフとも」を通じて、多様な機関との連携を深め、「共感」と「巻き込み」を高めていくことで、メンバー機関の取組のインパクト最大化を図ってまいります。

※詳細は下記HPをご確認ください。

https://www.f-rei.go.jp/f_tomo/index.html





F-REI

福島国際研究教育機構